

タンネウシ12



モイワシャジン

第26回 知床博物館特別展

月号

『活火山 羅臼岳』 12 / 1 (水) ~ 2 / 27 (日)

近年の地質調査により羅臼岳は1996年に活火山に認定されました。2,300年前、1,500年前、700年前と過去約2,000年の間に700年周期で3回噴火しています。2,300年前の噴火では大量の火砕流と溶岩を流し、現在の羅臼岳の山体を作りました。1,500年前の噴火では頂上部に流れにくい溶岩を噴出し火山灰を東に降らせました。そして現在の羅臼岳頂上の溶岩ドームは700年前の噴火で作られた、非常に若い溶岩です。

* 博物館 1Fホールにて
開催します

.....
特別展では登山道沿いの火山地質、地形について写真を中心に紹介します。また、立体地形図、火砕流・溶岩分布図、噴火史、湧出硫黄、溶岩の顕微鏡観察などでさらに詳しく羅臼岳噴火について紹介します。



羅臼岳が活きていること知ってました？

これであなたの知らなかった
羅臼岳がわかる！！
羅臼岳は硫黄を噴出しているんですよ

まだまだ知られていない羅臼岳を徹底解剖！
乞う、ご期待！

* 協会の会員の方は観覧料が無料です。
会員証を持参のうえ、ご来館ください。

～ モモンガ入居するかな？ ～

博物館入口の巣箱に、モモンガが見られました。
巣箱に入居するかはまだわかりませんが、随時ビデオで巣箱内の様子を観察していきます。

12月の講座、定員に余裕があります
参加される方は必ず申込みください

開館記念「もちつき大会」

12月28日(火)
10:00～12:00



先月、会員の横山博也さんが亡くなられ、ご遺族から協会にご寄付をいただきました。横山さんは開館間もない頃の博物館総務課長として勤務され、退職後は津軽藩士殉難慰霊碑を守る会の活動や町史編纂などに尽力されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。いただいた寄付金は博物館活動の援助に活用させていただきます。ありがとうございました。